

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月25日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン
 コード番号 4929 URL <http://www.adjuvant.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3136
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月1日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年3月21日～平成26年6月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,067	△4.2	200	△29.6	200	△31.8	102	△40.5
26年3月期第1四半期	1,114	—	284	—	294	—	172	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 103百万円 (△39.9%) 26年3月期第1四半期 172百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	13.28	13.01
26年3月期第1四半期	22.97	22.39

(注) 当社は、平成25年8月21日付で当社普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
 前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	5,422	4,321	79.7	559.22
26年3月期	5,419	4,387	81.0	567.81

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 4,321百万円 26年3月期 4,387百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	22.00	22.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年3月21日～平成27年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,350	7.4	465	△12.5	466	△13.6	260	△17.8	33.75
通期	5,184	13.4	1,129	12.7	1,129	12.0	640	11.9	82.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料3頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	7,727,400株	26年3月期	7,727,400株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	－株	26年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	7,727,400株	26年3月期1Q	7,507,200株

(注) 当社は、平成25年8月21日付で当社普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

(注) この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策等の効果もあり、景気は緩やかな回復傾向にあります。しかしながら、政府の今後の経済施策の効果が出るまでには時間を要し、また、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が見られ、依然として先行き不透明な状況が続いております。美容業界におきましては、引き続き新規顧客獲得数の減少、顧客単価の下落、来店サイクルの長期化等、サロン^{※注1}経営にとって厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き当連結会計年度営業方針を「顧客の創造・顧客の固定化」「カウンセリングの徹底」「知識・技術習得の強化」「年間販促計画（キャンペーン）の活用推進」として掲げ、サロンの安定した経営サポートに取り組みました。

また、A・C・Sサロン^{※注2}登録軒数につきましては、当第1四半期連結会計期間末で6,540軒（前期末比141軒増）となりました。

売上高につきましては、インターネット不正流通先サロンとの取引解除による影響が想定以上であったこと、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響、また、品切れ対応のためA・C・Sサロンへの通常フォローが十分では無かったこと等によりスキンケア、ヘアケア共に前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,067百万円（前年同期比4.2%減）となりました。利益面では、連結子会社設立等により販管費が増加した結果、営業利益200百万円（前年同期比29.6%減）、経常利益200百万円（前年同期比31.8%減）、四半期純利益102百万円（前年同期比40.5%減）となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
スキンケア	503	45.2	440	41.3	△63	△12.6
ヘアケア	656	58.9	603	56.6	△52	△8.0
その他	36	3.3	94	8.8	57	155.7
売上割戻金	△82	△7.4	△71	△6.7	10	—
合計	1,114	100.0	1,067	100.0	△47	△4.2

(注) 1. イノベーション・アカデミー株式会社（連結子会社）、ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED（連結子会社）の売上高は、金額が僅少であるため、その他に含んでおります。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしていませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、前期より取り組むインターネット不正流通先サロン取引解除による売上高への影響が想定以上に大きかったこと、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響、6月にリニューアルしたAEソープが発売前から予想以上の人気を博した結果、一時的に品切れし、またその対応により当社営業部員のA・C・Sサロンへの通常フォローが十分に行えなかったこと等により減少し、一方でAEソープがスキンケア商品全体の売上高を牽引したものの、前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は440百万円（前年同期比12.6%減）となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、上述のインターネット不正流通先サロン取引解除、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響、当社営業部員のA・C・Sサロンへの通常フォローが十分に行えなかったこと等により、前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は603百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

(その他)

MAPシステム^{※注3}におきましては、導入後のサロンフォローや導入見込サロンを対象とした説明会等を引き続き全国各地で行った結果、当第1四半期連結会計期間末における契約件数は225件（前期末比19件増）となりました。

また、6月に新発売したボディシリーズFOG SUI（フォグスイ）が品切れとなる程、予想以上の注文をいただきました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は94百万円（前年同期比155.7%増）となりました。

※注1「サロン」

美容室、理容室、エステティックサロンを指します。

※注2「A・C・Sサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたA・C・S加盟規約を遵守することを確約したサロンを指します。

※注3「MAPシステム」

サロンの顧客管理、経営分析のために提供しているクラウド型経営サポートシステムを指します。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して2百万円増加し、5,422百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して44百万円減少の3,418百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の減少99百万円、売掛金の減少43百万円、商品及び製品の増加90百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して47百万円増加の2,004百万円となりました。主な変動要因は、建物及び構築物の増加15百万円、資本業務提携契約の締結等に伴う投資有価証券の増加45百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して65百万円増加の706百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の増加136百万円、未払法人税等の減少151百万円、賞与引当金の増加37百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して3百万円増加の394百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して66百万円減少の4,321百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金の減少67百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期及び通期の業績予想につきましては、前回発表（平成26年4月24日）の連結業績予想からの変更はありません。今後の業績推移等によって当第2四半期及び通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,380,470	2,281,178
売掛金	511,446	467,453
有価証券	99,430	99,580
商品及び製品	309,865	400,551
原材料及び貯蔵品	32,859	38,451
その他	136,769	138,508
貸倒引当金	△7,660	△7,331
流動資産合計	3,463,180	3,418,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	745,541	760,800
その他	589,296	585,863
減価償却累計額	△296,389	△307,528
有形固定資産合計	1,038,449	1,039,136
無形固定資産	58,012	53,081
投資その他の資産		
その他	860,113	911,843
貸倒引当金	△79	—
投資その他の資産合計	860,033	911,843
固定資産合計	1,956,495	2,004,061
資産合計	5,419,676	5,422,452
負債の部		
流動負債		
買掛金	72,483	208,938
未払法人税等	239,521	88,379
賞与引当金	80,430	117,531
その他	248,103	291,473
流動負債合計	640,538	706,323
固定負債		
退職給付引当金	31,644	32,241
役員退職慰労引当金	311,000	315,499
資産除去債務	25,111	25,159
その他	23,656	21,900
固定負債合計	391,412	394,801
負債合計	1,031,950	1,101,124

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,588	704,588
資本剰余金	664,519	664,519
利益剰余金	3,015,917	2,948,506
株主資本合計	4,385,025	4,317,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63	2,774
為替換算調整勘定	2,763	940
その他の包括利益累計額合計	2,700	3,714
純資産合計	4,387,725	4,321,328
負債純資産合計	5,419,676	5,422,452

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年6月20日)
売上高	1,114,395	1,067,041
売上原価	372,367	372,020
売上総利益	742,028	695,021
販売費及び一般管理費	457,756	494,777
営業利益	284,272	200,243
営業外収益		
受取利息	9	611
受取配当金	20	58
保険解約返戻金	20,232	435
為替差益	732	—
雑収入	2,282	366
営業外収益合計	23,277	1,472
営業外費用		
支払利息	2,012	—
借入金繰上返済費用	9,118	—
保険解約損	—	240
為替差損	—	869
雑損失	2,401	3
営業外費用合計	13,533	1,113
経常利益	294,016	200,601
特別損失		
固定資産除却損	486	9
特別損失合計	486	9
税金等調整前四半期純利益	293,529	200,592
法人税、住民税及び事業税	98,321	106,070
法人税等調整額	22,731	△8,069
法人税等合計	121,052	98,000
少数株主損益調整前四半期純利益	172,477	102,591
四半期純利益	172,477	102,591

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月21日 至 平成26年6月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	172,477	102,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	2,837
為替換算調整勘定	—	△1,822
その他の包括利益合計	△23	1,014
四半期包括利益	172,453	103,605
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172,453	103,605
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。